

① みなみ生活支援 「地域の足」

メンバー

実施者：ダイハツ北海道販売株式会社

連携団体：ダイハツ北海道(株)、札幌市南区社会福祉協議会（社協）、損害保険ジャパン日本興亜(株)

活動目的

○住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らすための「生活の足支援」…通院＆買い物等。
※ダイハツ北海道による「無料車両貸出し」サービスに地元住民ボランティアドライバーをマッチング。

〈背景〉

- ・札幌市生活支援体制整備事業(高齢者の生活支援「支え合いの仕組みづくり」)の一環
ひとり暮らし世帯や支援を必要とする高齢者が増加する中、地域組織やボランティア、老人クラブ、社会福祉法人、NPO、民間企業などが連携
- ・南区は山間部や高低差の大きな地域が大部分を占める地域のため、幹線道路を運行するバスは入って来られず、高齢者の移動手段が脆弱な地域

南区：人口135,748人 高齢化率35.9%



活動実績：ダイハツ北海道提供無料車両貸出しによる交通空白地区の高齢者移動支援事業

実施概要

1) 主な利用者・特徴	▶南区真駒内、藻岩下等の交通不便地区居住でクルマの運転をしなくなった在宅高齢者世帯。※平日のみの運行
2) 主な利用用途	▶主に通院。※買い物用途は1割程度。
3) 運賃など利用者負担の形態	▶利用者の費用負担なし。
4) 移動用車両の提供	▶店舗に既設の試乗車の空き時間内で社協からの予約を受付、社協から委託を受けたドライバーが店舗で試乗車を借りて利用者を送迎後に返却

※2022年3月末現在

達成目標と実績

目標項目	達成状況の確認方法	2年後の最終目標 (助成終了時)	2年後の実績 (助成終了時)	目標と実績の差の理由
高齢者の生活の足を支援	地域の足会員数	20名	24名	実施地域の需要に貢献できた
通勤困難者の減少・健康維持	月平均運行回数	15回	8回	コロナ禍で社協担当者が利用件数を制限＆調整
買い物困難者の減少	月平均運行回数	10回	2回	同上
移動困難者の減少	月平均運行回数	5回	0回	通院、買い物以外の利用はほとんど無し

事業で得た地域との関わり・知見

地域との関わり

1) 地域コミュニケーションづくり	▶導入時と導入後12ヶ月経過後に安全運転講習や次世代予防安全機能の体感等を実施
2) 本事業の効果	▶地域(南区、南区社会福祉協議会等)との関係作りにつながった。

本事業を通じ得た知見

1) 導入方法実験手法の評価	▶交通空白地帯の不便さや高齢者の移動に対し、企業として小さな第一歩が便利な日常につながる気づきを得た。
----------------	---

事業継続について

1) 助成終了後の実施体制・方針の概要・役割	▶助成終了後も同体制で継続。							
2) 実施体制	事業主体	南区社会福祉協議会	運行主体	ダイハツ北海道販売(株)	その他連携先	・南区社会福祉協議会 ・損害保険ジャパン(株)	運行形態	自家用(白ナンバー)
3) 継続時の利用方法・利用時間 / 予約方法 / 運賃等	▶平日のみの運行。料金は無料。							